



海客棹

~ 4  
51  
2 止



門一利  
跡ヶ  
卷又

高所  
蔵

年名抄目録下

頼政奇道よとの事

後成自撰奇事

後惠考奇事

隱作者事

隆信定長一雙事

後成女之肉之合事

會奇事

式部志保勝事

後惠定奇事

假名書事

後成自撰奇事

後惠考奇事

後成女之肉之合事

道回奇事

大捕小侍候一雙事

奥親奇事

年連頭昭事

出代古事

取古奇事

諸侯名事

わらわらりるるの事  
為仲方なる事  
小野小町事  
わらわらりるるの事  
頼實の事  
つらつらりるるの事  
頼實の事  
つらつらりるるの事  
頼實の事

以下  
あまのこほくろの事  
棄てて成失事  
代に中秀事  
非弁仙言と事  
絶通の事  
後成入道物事  
依秀白の事  
頼海の事  
弁人不可能の事  
近年の事  
後成入道物事

中村藏書

後惠之れ政の事  
てあひたりるるの事  
みつゝるのひと事  
まじりたるの事  
あつたの事  
と云ふ事  
わらわらりるるの事  
かたはらりるるの事  
かたはらりるるの事

しうのふのわろをたてに何ゆへにさるるは物

信捕弘文事

勝命云信捕お下さるのしに弘文おいさる

あしきものあはしくしるべし  
あつれらるるしとせあはるし  
そせいとすうらうも古集とせし  
万葉集とくらしきまじり

後成身撰事

後成身撰と位入たのみし  
西海の中よるたはしき

クされいけ人の林内カ  
うらうらうらうらうらうらう

しんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん  
しんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

しんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん  
しんしんしんしんしんしんしんしんしんしんしん

もつゝいふまゝの事いふにひくひくはるる  
とゆゑしとわらしてこれよりくらく

後惠雅後女考

かの弁の力よきとてくらくしとの白く  
うき念しとあつたつたれかたなりあつた  
きしとつひあつたつたつたつたつた  
らんしとつたつたつたつたつたつた  
はつたつたつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた  
しつたつたつたつたつたつた

後惠雅考

其考一我考一

みうしつとつたつたつたつたつた  
あつたつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた

後成清捕方判皆有偏断事

類聚さびしうわすれ判の後成清捕方  
をなすもつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた  
つたつたつたつたつたつたつた



しそおしこつりつれはさかきしめさるる事いふ  
かりくみくまじもあがりありさるるいふ金の  
時いふさし籾師の座の知らむさるる事いふ  
まじしこまはさしひあせしるる事いふさるる事  
みくまじさるる事いふ他たはさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
えさるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
とあつさるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事

たさるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事

隆信定長二雙事

ちさるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
くらさるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
てさるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
のさるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事  
さるる事いふさるる事いふさるる事いふさるる事

はつはつと十そのすけはつはつと  
くわつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
後右大臣と一対人はつたれはつたれはつたれはつたれ  
隆信作と一入はつたれはつたれはつたれはつたれ  
くはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
あつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
のつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
を親の首首とみはつたれはつたれはつたれはつたれ  
ゆまたくしあつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
年道たためはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
きつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
はつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
つらつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
まつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
あつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
はつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ

大楠小侍後一大楠双事

ちつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
てはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
物あつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
はつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ  
まはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれはつたれ







あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に

あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に

あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に

あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に  
あはれなるよき世に













まうやういひたるおのづかやういひたる  
 こころみみそがりにさへもなりよかれと書葉  
 のこちみどまごなる紙移んこちなるらう  
 うづらうらうらうわがうらうらうたんと  
 えうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 そこ花實ちりふりしそみりりて其な海うみらうら  
 まくれらう後撰ごせんよるらうらうらうのた今うまう  
 けくえれてのらうらうらうらうらうらうらう  
 うらうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 まのこちらうらうの折ひのこちらうらう  
 うらうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 かの時ときのさうらうらうらうらうらうらうらう  
 うらう後撰ごせんよるらうらうらうらうらうらう  
 うらうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 金葉きんえつの又わらうらうらうらうらうらう  
 ずうらうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 周しゅうるらうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 かののこちらうらうらうらうらうらうらうらう  
 うらうらうらうらうらうらうらうらうらう  
 中ちゆううらうらうらうらうらうらうらうらうらう



こゝに於ては、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百、



Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript, spanning two pages. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. The script is dense and continuous across both pages, with some variations in line thickness and spacing. The right page begins with a distinct character that may be a section marker or a specific symbol. The overall appearance is that of a well-preserved but clearly aged handwritten record.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 14 lines of dense, cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 14 lines of dense, cursive script. The text includes several small annotations in a different script, likely Japanese, interspersed within the main lines of Arabic text.



Handwritten text in a cursive script, likely Latin or Greek, filling the right page of the manuscript.

Handwritten text in a cursive script, likely Latin or Greek, filling the left page of the manuscript.

後惠<sup>コリ</sup>新<sup>コリ</sup>書<sup>コリ</sup>

Handwritten text in a cursive script, likely Latin or Greek, filling the bottom portion of the left page.



月やあめまやじうしんるるあしぬ

我があしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

本工場の新しき

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる

あしんるるあしんるるあしんるるあしんるる





Handwritten text in cursive script, likely a title or header.

Handwritten text in cursive script, first line of the main body.

Handwritten text in cursive script, second line.

Handwritten text in cursive script, third line.

Handwritten text in cursive script, fourth line.

Handwritten text in cursive script, fifth line.

Handwritten text in cursive script, sixth line.

Handwritten text in cursive script, seventh line.

Handwritten text in cursive script, eighth line.

Handwritten text in cursive script, ninth line.

Handwritten text in cursive script, tenth line.

Handwritten text in cursive script, eleventh line.

Handwritten text in cursive script, twelfth line.

Handwritten text in cursive script, thirteenth line.

Handwritten text in cursive script, fourteenth line.

Handwritten text in cursive script, fifteenth line.

Handwritten text in cursive script, sixteenth line.

Handwritten text in cursive script, seventeenth line.

Handwritten text in cursive script, eighteenth line.

Handwritten text in cursive script, nineteenth line.

くまのつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

取古新

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

なつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

あつたつとむりくせうたのま

ととかんしんひびみづりよわたりてあや—きり—  
けいきていろくらわらわし—んせ—しんせわかちる  
—しころ—のめぐり—ころ—ふらふらわう—しんせ  
海前よきりせあきたる秀句とさうく—りん  
あひしちくくろくろ—くつ海の前—しんせ  
けい—しんせ—しんせ—あつあつ—しんせ—  
あ—しんせあつあつ—しんせ—しんせ—しんせ—  
しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
わらあ—<sup>た</sup>命—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—

—ゆり—又清ままは新年—合わつ月—と  
り—ゆり—み

—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
—わりの月—を—しんせ—しんせ—

ふの—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
定家朝下—<sup>ゆ</sup>南府—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
あ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
あ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—  
—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—しんせ—

とま九侍

般名書

百人をがらひのうへにすべし座の席に昔今のふ  
の席と申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ  
と申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ  
と申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ

いふことと申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ  
と申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ  
と申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ  
と申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ  
と申す日記のゆかしのことと申すと  
あはぬわがれとて伴物語あひびよ権様  
の争のうへにすべし座の席に昔今のふ















浪華書林吉田松根堂藏版書目

四書集註	論語徵	同正文	論語徵解	近思錄	全文抱朴子	韓詩外傳	孝經大義	同詳解	國語正本	搜神記
林道春註	祖來先生述	祖來先生述	中根細先生述	中根細先生述	吳興郡山人慎齋著	韓夫子著	道春監大學	廣川桂洲著	章陸殿	曾子等全集著
十	十	一	二	四	八	五	一	五	六	五

如賀屋善藏

南雷別志	聖學自在	閻乃曙	牛馬問	講習餘筆	先達遺事	近世叢語
祖來先生述	新井白地著	同著	同著	蘭林先生述	祖來先生述	九華角田先生著
五	三	四	四	四	一	四

中村  
書記

不盡  
文庫之  
屋記

藥徵	東洞先生著	三
續藥徵	村井先生著	三
東洞遺稿	東洞先生著	三
建珠錄	南瀛先生著	一
續建珠錄	南瀛先生著	一
辨醫斷	堀江先生著	二
醫方圓機	田中敬齋著	二
產航	此書ハ至極難後ノ諸君ノ爲ニ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス	二
治痢經驗	王善卷先生著	二
附和漢人參考		
幼科秘録	此書ハ幼科ノ要ヲ示シ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス	二

古文眞寶前集	守方ナ附	一
茶山先生九月吟	小本	一
三字經國字解	孫山先生著	一
訓蒙要言錄	孫山先生著	二
貞觀政要諺解	孫山先生著	五
通俗千金寶	毛刺良齋著	十
法曹至要抄	孫山先生著	三

金匱小兒方

小本

九散散藥煉其膏其目其味其酒等ノ方ヲ總セリ且其製シヤウ并ニ其價ノ見分ヤウヲ詳ニシテ凡ソ丸散煉其膏ヲコレラハト思ハカナラズ先此書ヲ見ルベシ

醫療察病考

菽山和順著

此書ハスベテ病癉ヲ細テ病因ヲ考ヘ診察ヲ詳ニシ并ニ經驗ノ方ヲ出入ノ機ヲ察シ更ニ起ラントスルヲ先知ルベシ且其証ト虚實トヲ明ラズ寒症ト熱症トヲ辨(或ハ治スルト治スルト死スルト死セザルトヲ決シ或ハ攻ムベキト攻ムベキトヲ補ムベキト補ムベキトヲ決シ又養生ヲ以テ治ヘキ症ヲ服法等ニイタルヲ詳ニシテ又

秘傳長壽法

繪圖入

小兒養育艸

香月山著

此書ハ小兒ノ知ルベキノ事ヲ示シ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス

贅語

繪圖三浦先生著

此書ハ贅語ノ類ニ屬シ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス

唐詩合解

高遠著

此書ハ唐詩ノ類ニ屬シ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス

熟字彙鳥

小本

此書ハ熟字ノ類ニ屬シ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス

日本詩故事選

小本

此書ハ日本詩ノ類ニ屬シ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス

手相卽坐考

小本

此書ハ手相ノ類ニ屬シ且最ハ人ノ壽ヲ長ク其功驗ノ九方ノ一ヲ著シ産科ノ要ヲ示ス

瘡瘡咒調法記 小本

同 紅あしき 両面挿入

附 美面定

婦人あしき 青月山書

安産道 秘考院日讀書

永代調法記寶庫 大本

歌仙二葉抄 小本

職人盡歌合 三

はるく 艸首書 五

源氏物語小鑑 藤原長親著 小本 三

同 男女裝束抄 壺井先生著 三

職官志 蒲生伊三郎著 七

書翰初學抄 石印本

增補日東尺牘 石印本

尺牘道標 傳門先生著

尺牘楷梯 中本

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

尺牘奇賞 東嶺江南先生著

尺牘清裁 東嶺江南先生著

句雙葛藤抄 香齋王孫撰

天地萬物造化論 香齋王孫撰

陰陽方位便覽 皇和司天家撰

陰陽五要奇書 皇和司天家撰

町見辨疑 西川先生著

萬年大雜書永代曆 中本

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰

畫圖百花鳥 梅野源齋撰



校正新撰姓氏錄 卷八 大和 四

神代卷 卷五 土傳 四

中臣 卷五 土傳 四

土佐國式社考 四

俗說贅辨 四

東遊記 十

西遊記 十

法華安心札物語 二

番神問答抄 二

鎌倉殿中間答記 二

日蓮上人御傳記 十

御式目童子訓 一

心學五常辨 一

道二の巻家訓 三

間路提焼灯 二

同 後編 二

女五常訓倭儀 一

草彙 四

童蒙 三

書諭 一

觀鸞百譚 五

筆法温知書 一

辨梅帖 一

...

御式目童子訓 一

心學五常辨 一

道二の巻家訓 三

間路提焼灯 二

同 後編 二

女五常訓倭儀 一

佩文齋書畫譜 類考卷四

三

女童子訓 長尾九郎撰

四

廿氏印正

明倫廣世 趙述  
清 劉光君原校

一

大和女訓

五

石印集註

荊州水滸集

二

男子訓

三

長子姓名節用集

一

廣益俗說辨

廿一

僧補好文節用集

小本  
世傳集

一

今昔智雄鑑

十

中將碁絹節

小本

三

古今元祐南大全

一

大將碁絹節

小本

三

文化九年壬申初冬求版

浪華書肆

心齋橋通安土町

加賀屋善藏梓

